

【事前準備】

①活動前に事務室に寄って、注文した七宝焼きセットと「利用者ファイル」を受け取る

七宝焼きの種類

キーホルダー
(四角)

携帯ストラップ
(ハート)

携帯ストラップ
(丸型)



②活動に必要な道具(活動場所にあります。)

☐電気炉・・・1～2台(人数に応じて)

☐火ばさみ・・・電気炉と同じ数

☐皮手袋・・・電気炉と同じ数

☐ゆう菓セット(グループ数分)

☐新聞紙・・・適量

☐洗面器・・・グループに1つ

☐ぞうきん・・・グループに2～3枚

・ゆう菓(各色)

・裏引きゆう菓

・小皿(人数分)

・つまようじ(人数分)

・割りばし

・白い台紙(人数分)

・洗淨瓶

・トイレトペーパー

・金やすり

・金網(人数分)

・接着剤

・紙やすり

【作成手順】

0. 活動準備(10分)

①机に新聞紙を敷き、ゆう薬セットを机の中央に配置する。(※新聞紙は机全面に敷く。)



②「七宝焼きセット(購入したもの)」、「作業用の白い台紙」、「小皿」、「つまようじ」を個人に配布。



③洗面器と洗浄瓶に水を入れる。



(準備完成イメージ)



【注意事項】

- ①七宝焼のゆう薬はガラス質です。絶対目に入らないように注意して下さい。ゆう薬を触った手で絶対に目をこすらないでください。
- ②銅板に手の油がつくと、水をはじく場合があるので、できるだけ触らずに作業します。
- ③ゆう薬は混ざると使えなくなるので、混ざらないようにしてください。

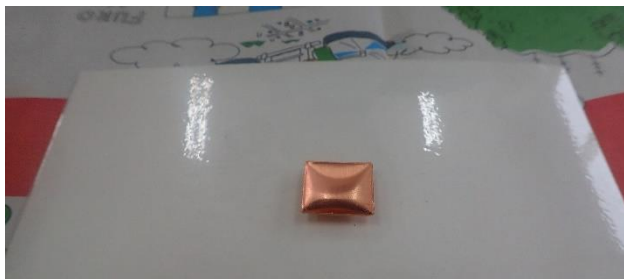
下記④の作業はやってもやらなくても良い。

④袋から銅板を取り出し、表面(膨らんでいる面)に紙やすりでキズを付ける。その際、表面は出来るだけ触らない。(手の油でゆう薬が乗りづらくなります。)



1. 裏面の作業(15分)

⑤裏面(へこんでいる面)を上にして白い台紙の上に置く。



⑥裏引きゆう薬を少量自分の小皿に取り、洗浄瓶の水と混ぜる。(わさびくらいの固さになれば良い。水が多い場合はトイレットペーパーで吸い取る。)



⑦つまようじを使い、裏引きゆう薬を銅板に乗せ、銅板が見えなくなるまで薄く均等に伸ばす。(厚さ1mm程度。)



⑧使った小皿は洗面器でゆすいで、雑巾で拭く。



2. 表面の作業(20分)

⑨ゆう薬をはがれないように、銅板を静かにひっくり返す。



⑩自分の使う色のゆう薬を、小皿に少量とり、洗浄瓶の水と混ぜる。(わさびくらいの固さになれば良い。水が多い場合はトイレットペーパーで吸い取る。)

足りなければ、その都度小皿にとる。(皿に出したゆう薬は再利用できないので、少量ずつとる)



⑪つまようじで、色つきゆう薬を銅板の表面に乗せてデザインしていく。銅板が見えなくなるまで色を置き、厚さが均等になるよう薄く乗せる(厚さ1mm程度)。色の違うゆう薬を重ねても混ざらないので、重ならないように乗せていく。



3. 電気炉で焼く(20分)

※火ばさみと革手袋を着用し、電気炉の温度が800℃以上であることを確認する。

⑫デザインした面が上になるように、銅板を金網の上に静かに乗せる。

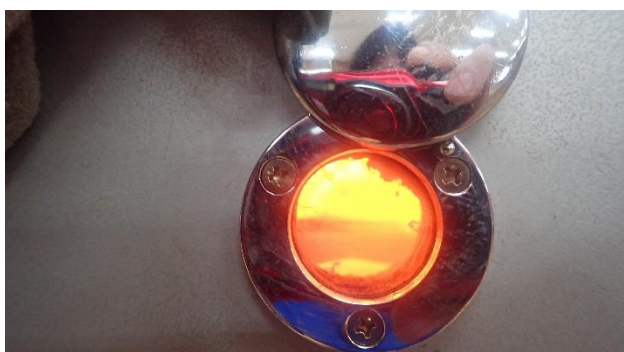


⑬銅板を金網ごと電気炉に入れる。



⑭800℃で1分程度焼く。

のぞき穴から見て、ゆう薬が溶けて、表面の凸凹がなくなっていき、光沢が出てきたらすぐに取り出す。



⑮10～15分ほどおいて冷ます。



4. 金具に取り付ける(10分)

⑯冷めたことを確認し、金網から銅板を外す。



⑰キーホルダーの金具にはまるかどうか確認し、はまらない場合ははみ出ている部分を金ヤスリで削る。



⑱金具にはまったら、瞬間接着剤で金具と銅板を貼り付けて完成。



5. 片付け(15分)

1. 使用した小皿、つまようじ、割りばしを洗面器の水で洗い、雑巾で水気をふいて元の場所に戻す。

2. 新聞紙にこぼれたゆう薬を洗面器に入れて、新聞紙をたたんでテーブルごとにとめる。

3. 洗面器の水を、ゆう薬を流さないように、流しに捨てる。洗面器は決められた場所に置く。

※洗面器に残ったゆう薬は、乾かして「裏引き用ゆう薬」にしますので、排水溝に流さないようにする。

4. その他使った道具を元の場所に戻す。

5. 床やテーブルの上も清掃する。